

## 保護者の皆様へ ～ 今後の教育活動について ～

令和3年8月20日

小林市立南小学校

本校における新型コロナウイルスの感染防止対策は、令和2年6月に作成したガイドラインに沿って取り組んでおります。子どもたちは学校での対策をしっかりと実行し、保護者の皆様にも家庭での取組に御協力いただいているおかげで、これまで学校の教育活動における感染等が発生していないことに改めて感謝申し上げます。

昨年同時期の宮崎県の感染状況を振り返りますと、夏休みに入ってからすぐに感染者が増加し、令和2年7月25日にはその時期最多の26名の感染者が確認され、次の日に県は、「感染拡大緊急警報」を発令しました。その後、全県下の飲食店等に休業要請を行うなどの取組で8月25日には感染者ゼロ、その後の9・10月においても、新たな感染者が月全体で数名しか確認されないほど事態は沈静化しました。このいわゆる第3波を乗り越えた状況の中で、本校の秋の諸行事も実施できたものもありました。

本年も昨年と同様、夏休み開始時に感染者の増加が始まりましたが、ご存じのとおり感染者数と拡大のスピードは昨年と比較にならないほど深刻です。高齢者等をはじめとしたワクチン接種が進んでいるにもかかわらず、第4波（令和2年12月～令和3年2月）を上回る感染拡大が進んでいる原因は、新たな変異株（デルタ株）の強い感染力によるものだと言われています。実際に、昨年度とは感染者の年齢層が異なっており、子どもを含む若年層の集団でクラスターが発生している事例が県内でも報告されています。

これまでの子どもの感染の多くは、マスクを外し、会話や食事を共にする家族内で発生していました。しかし、今回、家庭以外の場でも子どもの感染が見られていることから、学校としましては、学校生活における子ども間の感染の可能性がこれまで以上に高まっていると考えております。

このような状況から、夏休み明けからの学校の教育活動につきましては、昨年度よりも強い感染防止体制をもって行うこと、また、諸行事につきましては、昨年度より厳しい判断をせざるを得ない状況であることを御理解いただきたいと思います。

残された本年度の活動は、子どもたちにとってかけがえのない教育の機会ではありますが、健康や安全に替えることはできません。学校としましては、今後、学校における感染防止対策をさらに充実させた上で学習指導を継続するとともに、諸行事につきましても、これまで同様に多方面から情報を収集した上で、実施可否の判断や内容の検討を行うこととしておりますので、保護者の皆様の御理解と御協力をお願いいたします。

校長 吉 井 秀 一